販売用資料

2023年2月

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）
追加型投信／内外／株式

世界のベストについて よくあるご質問

Q1	「世界のベスト」はどのようなファンドですか。	・・・・・ P.1
Q2	どこで運用されているのですか。運用体制について教えてください。	・・・・・ P.2
Q3	運用プロセスについて教えてください。	・・・・・ P.3
Q4	分配方針について教えてください。	・・・・・ P.4
Q5	過去の分配実績について教えてください。	・・・・・ P.5
Q6	分配原資とは何ですか。	・・・・・ P.6
Q7	いつまでに購入すれば分配金を受け取れますか。	・・・・・ P.7
Q8	購入や換金の申し込みができない日はありますか。	・・・・・ P.7
Q9	基準価額はいつの市場データを基に算出されますか。	・・・・・ P.7
Q10	ファンドの運用状況などの最新情報はどこで確認できますか。	・・・・・ P.8
Q11	インベスコについて教えてください。	・・・・・ P.9

当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）/＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」を総称して「当ファンド」または「世界のベスト」という場合があります。また、決算頻度に応じてそれぞれ「毎月決算型」、「年1回決算型」、為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

Q1. 「世界のベスト」はどのようなファンドですか。

- 世界の先進国企業の中から、運用チームが「株式投資の王道」にこだわって、世界のベストと考える銘柄に厳選投資を行うファンドです。
- 「毎月決算型で20年超」の長期の運用実績を誇ります。
- 2023年1月末時点において、「73カ月連続（6年超）での純資金流入*を記録」し、純資産総額は、3,000億円を超える水準まで増加しました。

「世界のベスト」のポイント

「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。
「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。

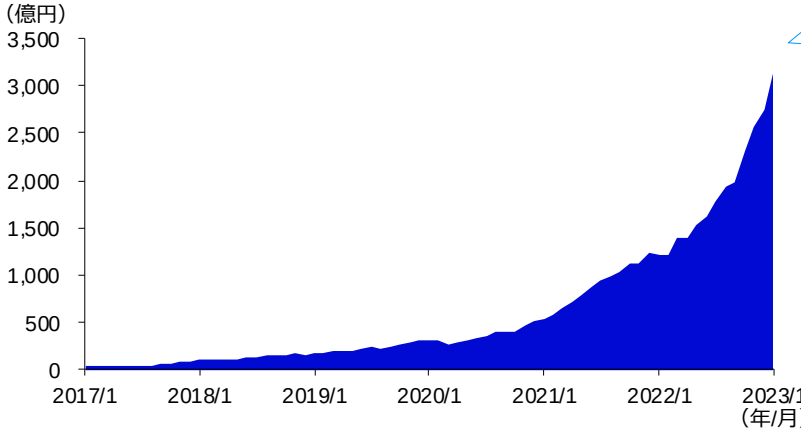
「毎月決算型で20年超」の実績を誇る世界株式ファンド

1999年1月の設定来、様々な市場環境の変化を乗り越え、日本において20年超の運用実績を有します。

※　世界のベスト（毎月決算型）は、2016年9月に毎月決算型に変更し、2017年1月より毎月分配を行っています。また、2018年10月に年1回決算型を設定しました。販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

73カ月連続での純資金流入*を記録

「世界のベスト」の純資産総額の推移



純資産総額
3,122億円
（2023年1月31日現在）

*　純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。
　73カ月連続は、2017年1月から2023年1月まで（月次データ）。
出所：インベスコ
グラフ期間：2017年1月末～2023年1月末、月次データ
世界のベストの純資金流入および純資産総額データは、＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）、＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）、＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）、＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の合計です。同データは過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）
<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）

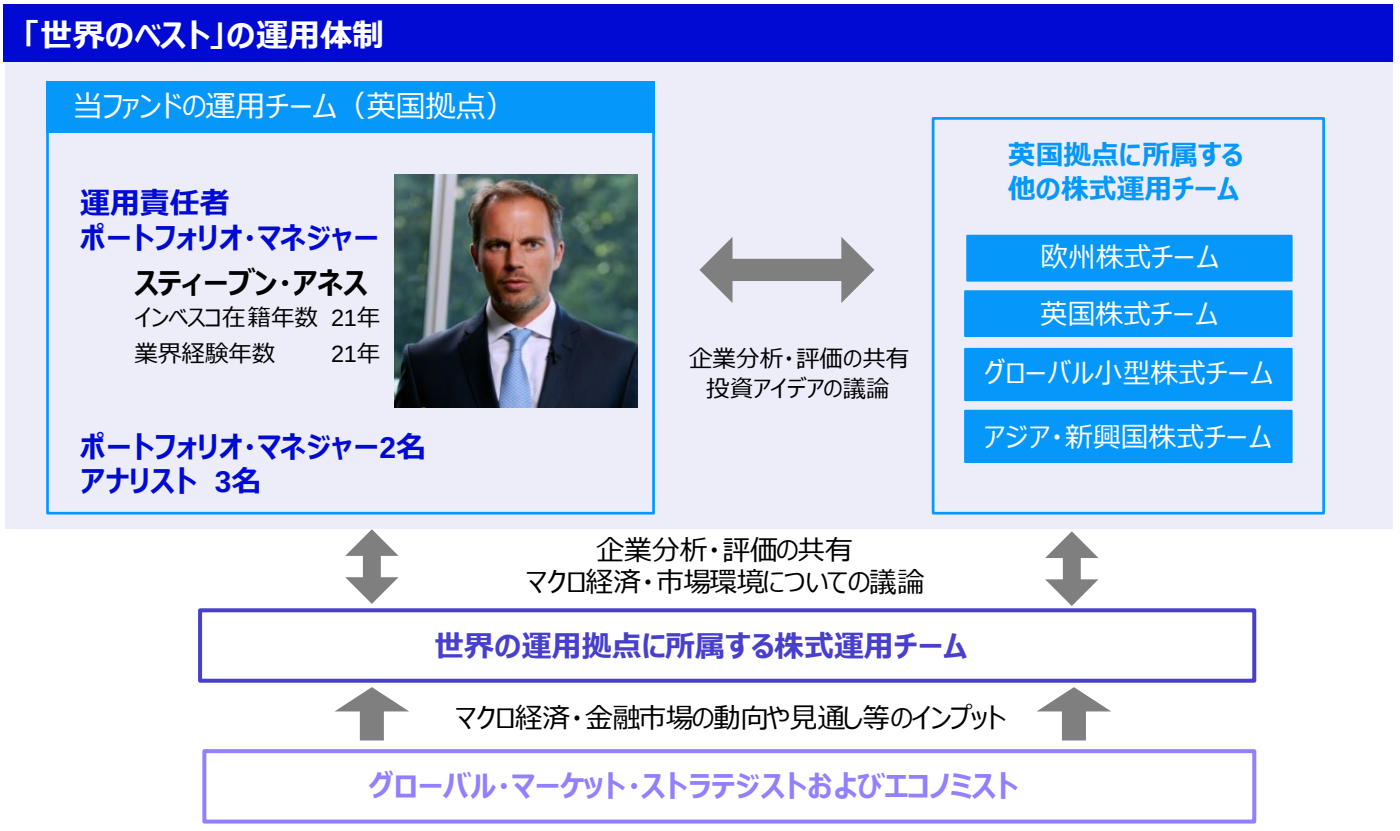
Q2. どこで運用されているのですか。運用体制について教えてください。

当ファンドの運用は、インベスコ※の英国拠点であるオックスフォード近郊のヘンリー・オン・テムズの拠点に在籍する経験豊富な運用チームが担当しています。運用責任者であるポートフォリオ・マネジャーのスティーブン・アネスほか、ポートフォリオ・マネジャー2名、アナリスト3名の運用体制を敷いています。

- 運用チームは、世界の運用拠点との情報共有や議論を通じて投資アイデアを発掘し、徹底的な企業調査・分析・評価を行って投資銘柄を厳選します。
- また、世界経済や金融市場動向に精通するストラテジストやエコノミストの情報も活用し、グループの総力を結集して市場動向をいち早く捉えた柔軟な運用を行います。

※インベスコについては、9ページのQ11をご参照ください。

「世界のベスト」の運用体制



出所：インベスコ　2023年1月1日現在

運用拠点について

運用チームが拠点を置くヘンリー・オン・テムズは、大都市ロンドンシティーから　離れた自然に囲まれた閑静な地域にあり、日本の軽井沢のような所です。

都会の喧騒や市場の一時的、短期的な情報から離れた運用拠点で、世界の経済・市場動向を俯瞰し、チーム一体となって運用に集中しています。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

Q3. 運用プロセスについて教えてください。

当ファンドは、投資国・地域や投資テーマ・業種などに特定の制限を設けていません。幅広い投資対象企業の中から、経済状況や市場環境の変化をいち早く捉えた投資アイデアに基づき、株式投資の王道にこだわって、確信度の高い銘柄だけに厳選投資を行います。

- 世界の先進国企業約20,000社から、投資アイデアの発掘、企業調査や評価・分析などファンダメンタルズ分析を経て、約40-50銘柄を厳選して投資を行います。
- 銘柄の厳選においては、ビジネスの競争優位性、財務健全性等に対する分析や経営力、および株価の適正水準などの評価を行い、1つ1つの銘柄を丁寧に選ぶボトムアップ・アプローチよって企業の見極めを行っています。

「世界のベスト」の運用プロセス

*1 出所：WORLD FEDERATION OF EXCHANGES。2022年9月末現在。
先進国の企業数は以下の証券取引所の上場企業数を合算することにより22,975社と算出。当数字は、以下の各証券取引所の上場企業数を合計したものであり、重複上場を考慮していません。
北米: NYSE、Nasdaq、TMX Group。アジア太平洋: ASX Australian Securities Exchange、Hong Kong Exchanges and Clearing、Japan Exchange Group、Singapore Exchange。欧州: Euronext、BME Spanish Exchanges、Deutsche Boerse AG、LSE Group。
*2 ポートフォリオの銘柄数は運用状況に応じて変わります。
上記運用プロセスは、2022年12月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

Q4. 分配方針について教えてください。

毎月決算型の収益分配方針

■ 毎月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

・分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の金額とします。

・分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。（分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。）

・毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

年1回決算型の収益分配方針

■ 年1回の12月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。

・分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の金額とします。

・分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。（分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。）

上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

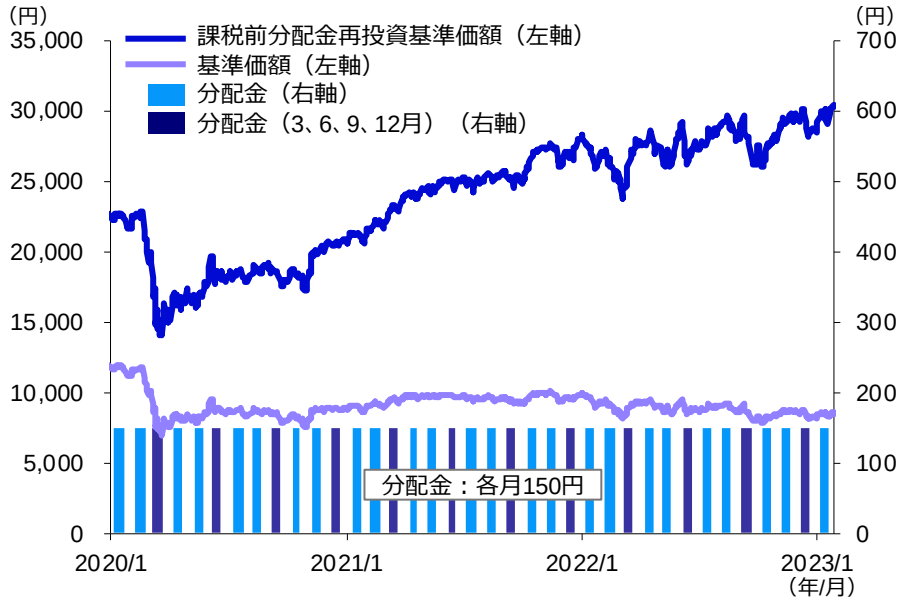
<為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）
<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）

Q5. 過去の分配実績について教えてください。

- 毎月決算型は、コロナ禍においても分配金額の引き下げを行わず、安定的に分配を継続してきました。2020年以降の分配実績と基準価額の推移について下グラフをご確認ください。※設定来の基準価額の推移は10ページをご確認ください。
- 年1回決算型は、2023年1月末時点において分配実績はありません。

<為替ヘッジなし>（毎月決算型）
分配実績（1万口当たり、課税前）と基準価額の推移

期間：2020年1月4日～2023年1月31日

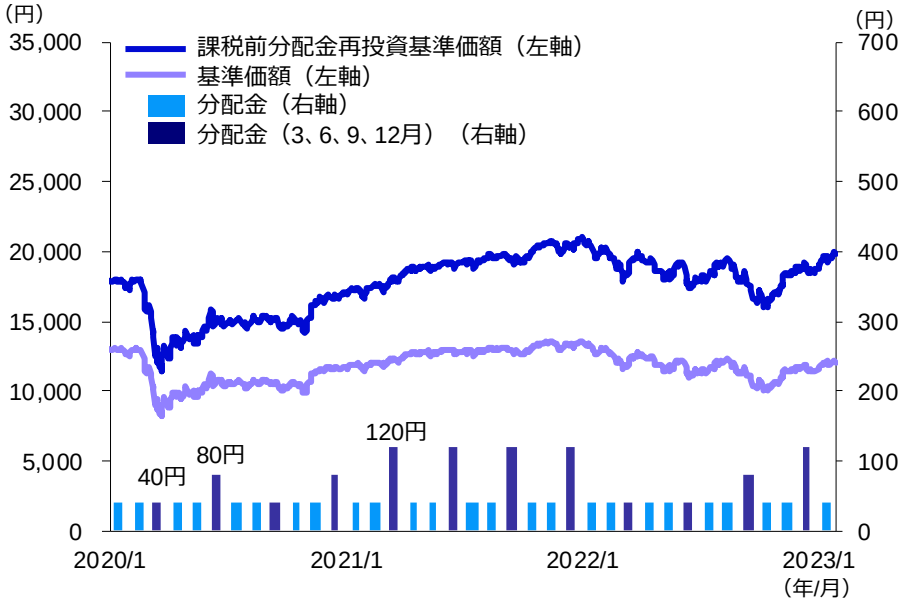


2023年1月31日現在

設定来累計分配実績（1万口当たり、課税前）	
	14,200円
分配原資（2023年1月23日現在）	
	8,047円
基準価額と純資産総額	
基準価額	8,521円
課税前分配金再投資基準価額	30,216円
純資産総額	2,988億円

<為替ヘッジあり>（毎月決算型）
分配実績（1万口当たり、課税前）と基準価額の推移

期間：2020年1月4日～2023年1月31日



2023年1月31日現在

設定来累計分配実績（1万口当たり、課税前）	
	6,070円
分配原資（2023年1月23日現在）	
	7,389円
基準価額と純資産総額	
基準価額	12,088円
課税前分配金再投資基準価額	19,752円
純資産総額	45億円

出所：インベスコ
基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記の分配金は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。後述の「収益分配金に関する留意事項」の内容を必ずご確認ください。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）
<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）

Q6.分配原資とは何ですか。

- 分配原資（分配対象額）は、ファンドの資産のうち分配金として支払うことができる金額を指します。
- 分配原資の額が大きいほど、分配金として支払うことができる上限が高いことになります。ただし、分配金はファンド毎に定められている収益分配方針に沿って決定されるため、必ずしも分配金が多く支払われるとは限りません。
  ※4ページのQ4分配方針および12ページの収益分配に関する留意事項をご確認ください。
- 分配原資は、以下の４つで構成されています。

分配原資（分配対象額）の内訳のイメージ

当期の収益	①配当等収益	株式やリートの配当収益や債券の利息収入などから経費*を控除したもの
当期の収益	②有価証券売買益・評価益	株式やリート、債券などの値上がり益および評価益から経費*を控除したもの
当期の収益以外	③分配準備積立金	前回の決算日までに得た①と②のうち、分配金として支払わなかった分を積み立てたもの
当期の収益以外	④収益調整金	追加設定（購入）により口数が増えることで、既存の投資家の分配対象額が減少しないようにすることを防ぎ、投資者間の公平性を保つために設けられたもの

＊ ファンドの純資産から控除される信託報酬などの費用
上記は、投資信託の分配原資についての一般的な内容を記載したものであり、世界のベストに限定した内容ではありません。

世界のベストの分配原資（分配対象額）は、交付運用報告書の分配金の欄でご確認いただくことができます。
交付運用報告書は、インベスコのホームページに掲載しています。※8ページのQ10をご参照ください。

例：毎月決算型の交付運用報告書の表紙

受益者の皆さまへ

インベスコ　世界厳選株式オープン
<為替ヘッジあり>毎月決算型／<為替ヘッジなし>毎月決算型
愛称：世界のベスト
追加設定／内外／株式

交付運用報告書

インベスコ・アセット・マネジメント

運用経過の項目内の分配金欄

インベスコ　世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>（毎月決算型）

分配金

（2021年12月24日～2022年6月23日）

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況環境などを勘案し、第97期から第102期まで合計で１万口当たり900円（税込み）とさせていただきました。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目	第97期 2021年12月24日～2022年１月24日	第98期 2022年１月25日～2022年２月24日	第99期 2022年２月25日～2022年３月23日	第100期 2022年３月24日～2022年４月25日	第101期 2022年４月26日～2022年５月23日	第102期 2022年５月24日～2022年６月23日
当期分配金	150	150	150	150	150	150
（対基準価額比率）	1.621%	1.709%	1.611%	1.599%	1.731%	1.713%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	150	150	150	150	150	150
翌期繰越分配対象額	8,843	8,693	8,582	8,639	8,489	8,339

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

出所：インベスコ　上記の記載および過去のデータは、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】
＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

Q7. いつまでに購入すれば分配金を受け取れますか。

■ ファンドの決算日の2営業日前までに購入のお申し込み*をしていただければ分配金を受け取ることができます。

＊ 販売会社所定の事務手続きが完了した場合

例：2022年11月

日 11/20	月 11/21	火 11/22	水 11/23勤労感謝の日	木 11/24	金 11/25	土 11/26
	購入申込受付日	購入価額算出日 （約定日）		毎月決算型の 決算日		

毎月23日が決算日
休日の場合は翌営業日となります。

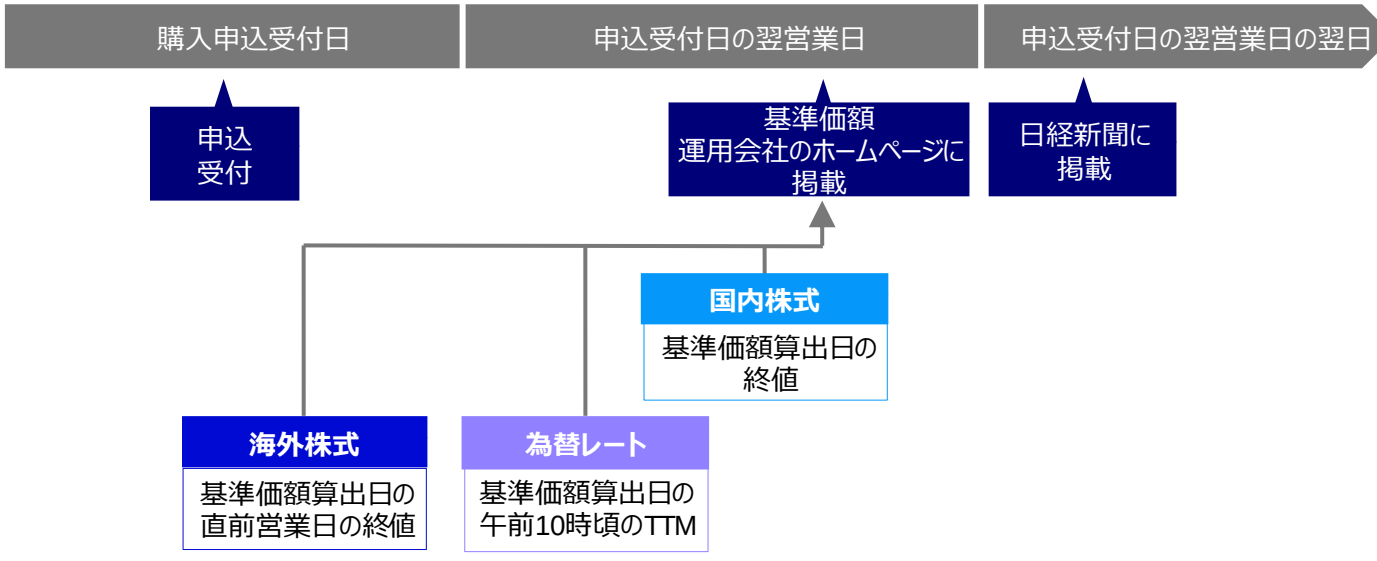
Q8. 購入や換金の申し込みができない日はありますか。

■ 日本の祝日、土曜・日曜、年末年始（12月31日～1月3日）以外、ファンドの休業日はありません。

Q9. 基準価額はいつの時点の市場データを基に算出されますか。

■ 基準価額は以下のように算出・公表されます。

海外株式： 基準価額算出日の直前営業日の終値を基に算出します。ニューヨーク市場の場合は、現地時間16時（日本時間の翌日6時）*1です。
為替レート： 基準価額算出日の10時頃の為替レート（投信協会公表為替レート）*2 を用いて算出します。
国内株式： 基準価額算出日の終値（東京証券取引所は15時）を基に算出します。



上記は基本的な基準価額算出における評価基準のイメージです。上記に当てはまらない場合もあります。
*1　ニューヨーク市場の終値は冬時間を記載しています。3月第2日曜日から11月第1日曜日まで夏時間にが実施され、1時間早まります。
*2　投信協会公表の為替レートは、午前10時頃に発表される、主として三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（TTM＝売り相場と買い相場の平均値）が適用されます。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

Q10. ファンドの運用状況などの最新情報はどこで確認できますか。

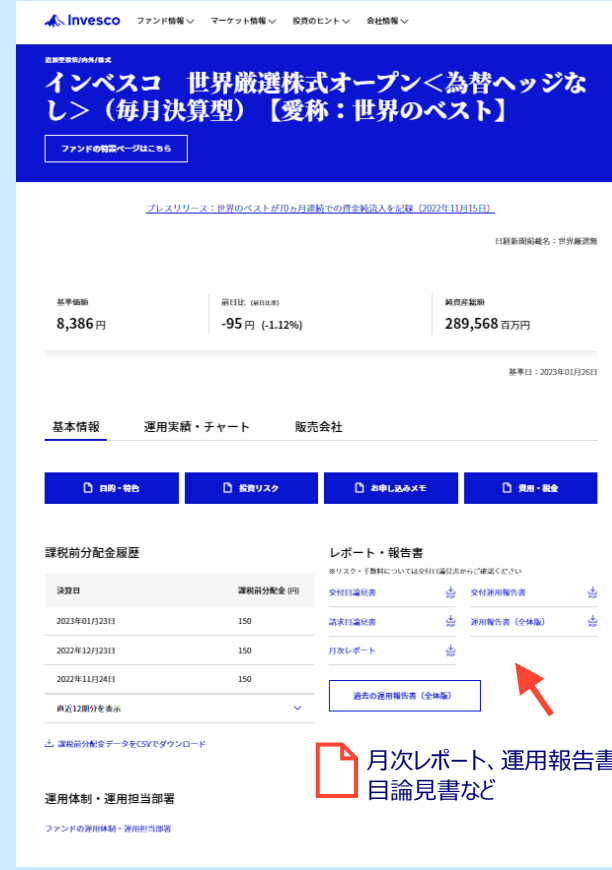
- ファンドの運用状況は、月次レポート、月次運用報告動画、運用報告書などでご確認いただけます。インベスコのホームページに掲載しています。
- また、ホームページ内の世界のベスト特設ページでは、最新のメディア掲載情報の他、市場動向に応じた投資テーマをとりあげた特別レポートや、運用責任者からのメッセージ動画等も随時掲載しています。

インベスコのホームページ
https://www.invesco.com/jp/ja

「世界のベスト」特設ページはこちらから

世界のベスト　特設ページ

各ファンドの詳細ページ



月次レポート、運用報告書
目論見書など

〈動画〉
月次レポートの内容を動画にまとめた運用報告、
運用責任者からのメッセージ、運用拠点のご紹介など

〈レポート〉
運用チームが着目する投資テーマや企業例、見通しなど

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

Q11. インベスコについて教えてください。

- インベスコは、米国アトランタを本拠地として、世界25ヵ国以上で展開する世界有数の規模を誇る独立系資産運用会社です。
- 「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」というパーパス（存在意義）を持ち、長い歴史と伝統を持つ運用会社として、世界の投資家の様々なニーズに応じた多岐にわたる資産運用サービスを提供しています。

インベスコの起源
85年超
前身企業が1935年に設立されて以来、世界有数の独立系運用会社として拡大・成長を続けてきました。

運用資産
191兆円超
株式・債券などの伝統的資産からオルタナティブまで網羅した運用戦略を提供しています。*1

上場企業
S&P500
ニューヨーク証券取引所に上場し、S&P500指数の構成銘柄に採用されています。信用格付けはA3（ムーディーズ）を取得しています。*2

運用プロフェッショナル
800名超
グループの総合力を結集して様々な資産運用ニーズに応じた包括的な解決策を提供しています。*3

日本との関わり
日本進出の先駆け
1983年には、最も早く日本市場に進出した外資系資産運用会社の1社として、東京事務所を開設しました。

米国アトランタの本社オフィス

アトランタは、米国南東部・ジョージア州の州都です。全米有数のビジネス都市であると同時に、豊かな緑に囲まれたベッドタウンを有する職住近接都市でもあります。

環境の良さから優良企業が集まっており、コカ・コーラ・カンパニーやCNNなどの著名企業がアトランタに本社を構えています。

アトランタの風景。オフィス街を取り囲むように、豊かな緑を有した閑静な住宅街が広がっています。

出所：インベスコ、ブルームバーグ
*1 運用資産額は2022年9月末現在（WM/ロイターのレート（1米ドル=144.745円、2022年9月末時点）に基づき円換算）*2 インベスコ・グループの中核企業であるインベスコ・リミテッドが構成銘柄に採用されています。信用格付けはインベスコ・リミテッドのムーディーズ・インベスターズ・サービスよる評価、直近公表された格付に基づきます（2022年12月末現在）。当ファンドの格付けではありません。*3 2022年12月末現在
上記は個別企業への投資を勧誘・推奨するものではありません。写真はイメージです。

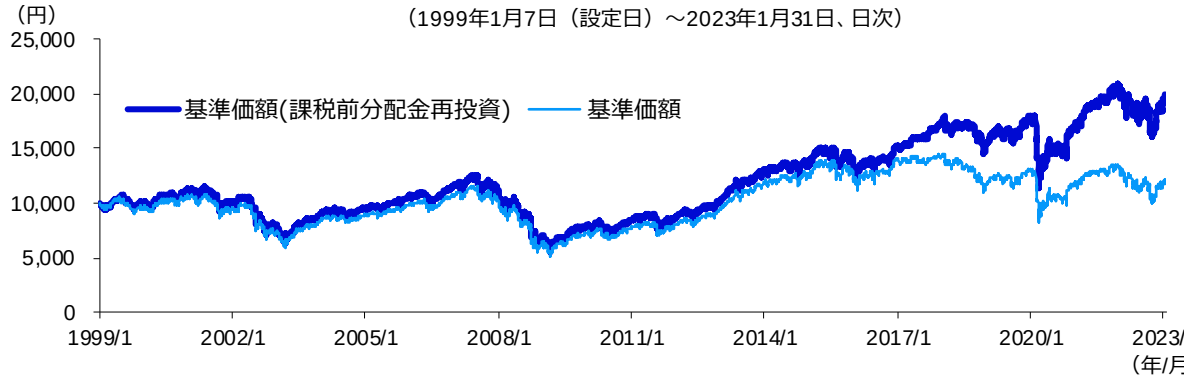
インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

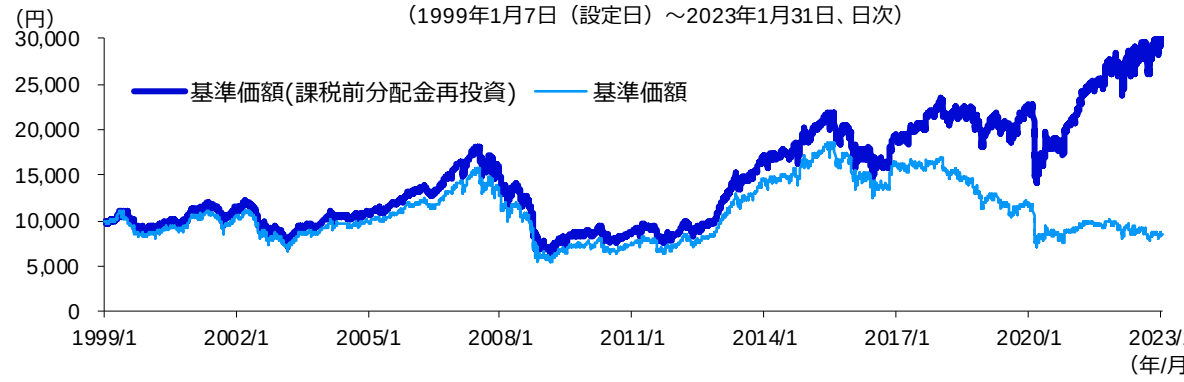
当ファンドの基準価額の推移

毎月決算型

為替ヘッジあり

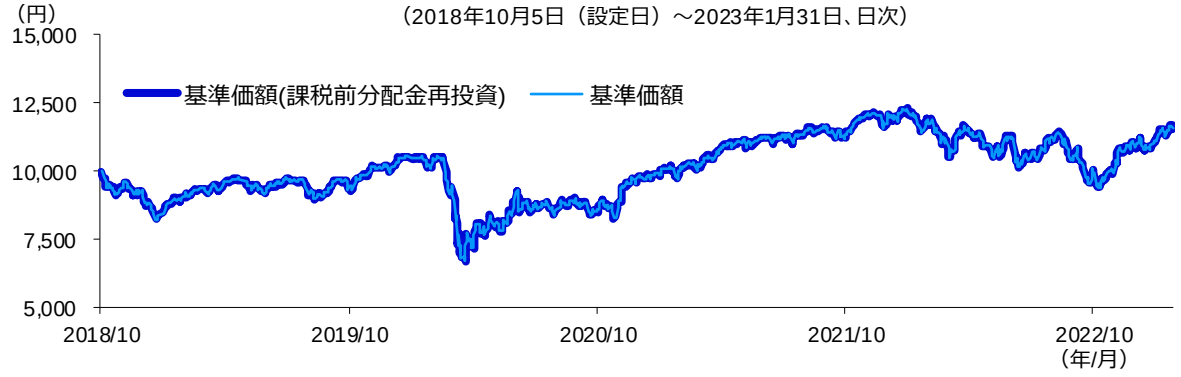


為替ヘッジなし



年1回決算型

為替ヘッジあり



為替ヘッジなし

出所：インベスコ
基準価額は、信託報酬控除後のものです。分配方針についての詳細は、後述のファンドの特色をご参照ください。
上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

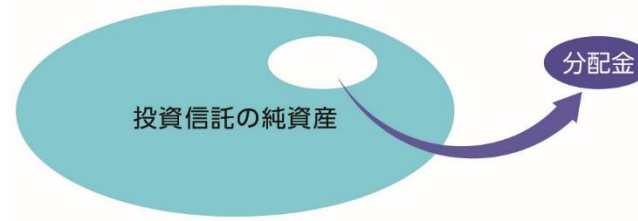
インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）
<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）

収益分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

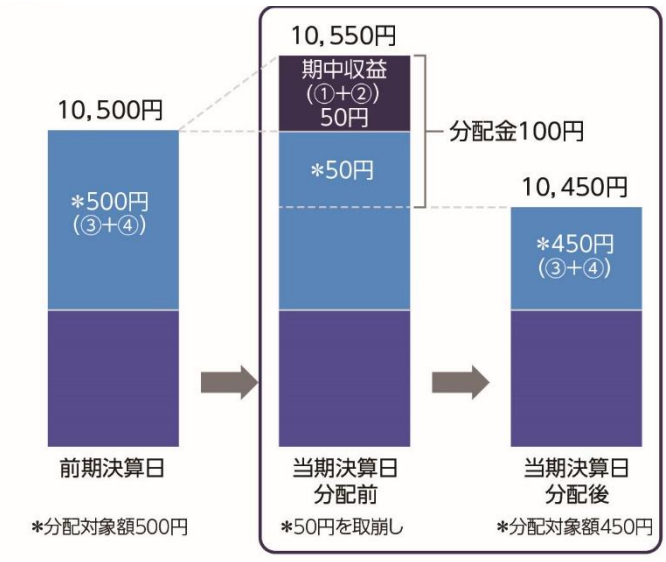
投資信託で分配金が支払われるイメージ



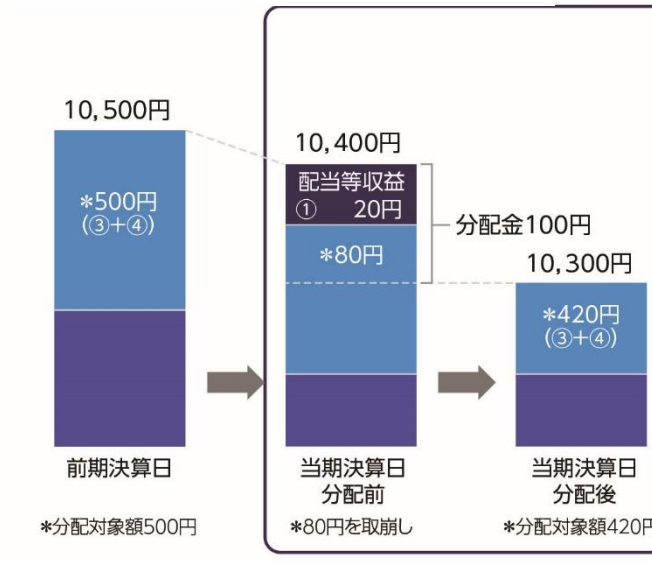
■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■前期決算日から基準価額が上昇した場合



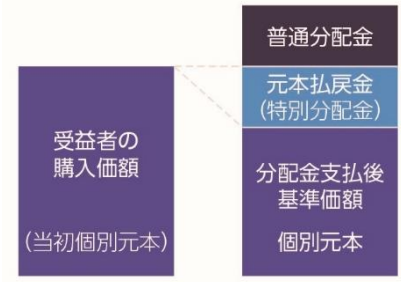
■前期決算日から基準価額が下落した場合



（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

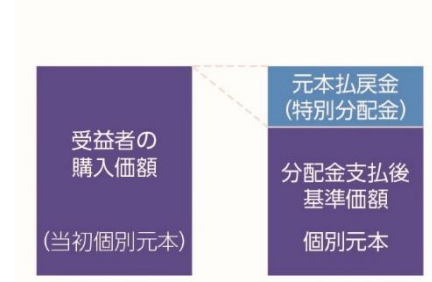
■ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

■分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

ファンドの特色

- 主としてマザーファンド※1受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。
- 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。
- 為替変動リスクについて、対応の異なる2つのファンドがあります。
  - ■＜為替ヘッジあり＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
  - ■＜為替ヘッジなし＞では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
- 毎月決算型は、原則として、毎月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。
- ＜為替ヘッジあり＞はMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）※2、＜為替ヘッジなし＞はMSCIワールド・インデックス（円換算指数）※2をベンチマーク※3とします。
- インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド（英国、オックスフォードシャー）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」です。

※2 MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）とは、MSCI Inc.が算出する基準日のMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）の数値です。MSCIワールド・インデックス（円換算指数）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（米ドル指数）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）およびMSCIワールド・インデックス（米ドル指数）は、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※3 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク

〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。

信用リスク

発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。

ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。

カントリー・リスク

投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。

為替変動リスク

〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。

為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。

〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。

為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

■ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。

■ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。

■マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券等の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 ＊分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	■毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日）
繰上償還	■毎月決算型：信託契約の一部解約により、＜為替ヘッジあり＞および＜為替ヘッジなし＞の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。 ■年1回決算型：信託契約の一部解約により、＜為替ヘッジあり＞および＜為替ヘッジなし＞の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	■毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	■毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ＊自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める**3.30%（税抜3.00%）以内**の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.30%**の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に**年率1.903%（税抜1.73%）**を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・手数料	・組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して**年率0.11%（税抜0.10%）を上限**として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

設定・運用は

商号等　：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第306号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
　　一般社団法人日本投資顧問業協会

＜ファンドに関する照会先＞

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル　03-6447-3100
【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
ホームページ https://www.invesco.com/jp/ja/

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン　【愛称：世界のベスト】

＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）／＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）／＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

■ 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。

※　分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型取り扱い販売会社	年1回決算型取り扱い販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○			○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○				○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	○
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		○	○
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		○	
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド（銀行）※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○				○	
岡三にいがた証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				○	
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○	○	○
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○				○	○
株式会社十六銀行※2	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○		○	
スルガ銀行株式会社※2	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○				○	
損保ジャパンＤＣ証券株式会社（確定拠出年金のみの取り扱い）	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○				○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○				○	○
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○		○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○				○	○
株式会社富山銀行※2	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○				○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○	○	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○				○	○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○		○	○
日本生命保険相互会社（確定拠出年金のみの取り扱い）	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○				○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○			○	
Pay Pay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	○	
三津井証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○				○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○	○
株式会社三菱ＵＦＪ銀行※2（確定拠出年金のみの取り扱い）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○	
三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	
めぶき証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○				○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 インベスコ　世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入しておりません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。